

寝屋川市出身

上原選手が現役引退

たくさんの夢をありがとう

上原選手の母校である市立第十中学校の
懸垂幕と野球部の皆さん



プロ野球やメジャーリーグで活躍した、市出身の上原浩治選手が、5月20日に現役引退を発表しました。

市は、上原選手の活躍をたたえ、母校である市立第十中学校の校舎に、縦7.5メートル、横85センチメートルの「上原浩治先輩 夢・感動 ありがとう」と書かれた懸垂幕を掲げました。

上原選手在学当時は存在しなかった野球部（平成22年4月創部・20人）のキャプテン中村光毅さん（14歳・中学校3年生）は「メジャーリーグでの活躍を見て、母校の偉大な先輩であることを知りました。速球（のコントロール）が良くて速いところが魅力」と笑顔で話してくれました。



市内で行われた野球教室の様子（平成24年2月）

上原浩治選手プロフィール



市立明德小学校卒業、市立第十中学校卒業。

日米通算134勝・93敗・128セーブ・104ホールド、日本史上最高と言われる制球力を武器に、プロ1年目から20勝を挙げ、日本代表チームやメジャーリーグでも大活躍。代名詞でもある座右の銘「雑草魂」を胸に、数々の名ドラマを見せてくれました。

皆さんから寄せられたメッセージ

寝屋川市で少年野球をしていて、ずっと憧れの存在でした。これからも野球界、寝屋川市の発展に貢献してください！

同郷の人が巨人や大リーグで活躍する姿を見て、非常に嬉しく思っていました。ドラフト直後に貰ったサインは今も大事に置いています。長い現役生活お疲れ様でした！

鶴直人
さん

同じ投手として、ずっと目標にしていました。21年間お疲れ様でした。

上原選手へのメッセージを市ホームページ(右のQRコード)で募集しています。温かいメッセージや感謝の言葉を送りませんか。

